



特集

まちづくり協議会
情報支援部会

まちづくり協議会の情報支援部会では、区民の活動や様々な情報をホームページ、Facebook、YouTube、Instagram で発信しています。同じ情報でも様々なツールで発信することで、文章や写真、ある時は動画で伝えることができ、以前より多くの方に見ていただけるようになってきたと実感しています。

また、年に一度【市民活動応援講座】と銘打って、情報発信をテーマに講座を企画しています。昨年度は「スマホで!! 超入門 Instagram」の講座を開催し、定員に収まり切れないほどの人気を博しました。それを機会にまちづくり協議会の Instagram のアカウントも開設し、ハッシュタグ (#)の後に“拡散”しそうなキーワードを付けて、区内外の広範囲の人々に簡単に当該記事を検索されやすく工夫したうえ、区内の行事・イベントを投稿しています。

Instagram、Facebook、YouTube、LINE などは SNS=ソーシャル・ネットワーキング・サービスと呼ばれ、ソーシャル（社会的な）ネットワーキング（つながり）を提供するサービスですが、今年度の市民活動応援講座では、これら SNS の活用方法を取り上げる予定です。

活動団体が情報を広く発信する時、どの SNS でどういう投稿（写真・動画・文章）をすれば効果的に伝えたい対象に届くのかを知ることがポイントでは！と、いうことで企画しています。

SNS を利用すると情報の発信、収集が容易にできると共に、上手く利用して、遠くの親戚や友人、更には同じ趣味や興味を持つ方との交流も楽しめます。また、災害発生時の連絡手段になるという大切な一面もあります。

「『足腰が弱り出かけて行けない。天気が悪くて出かけ辛い』と、家に閉じこもりがちにならない為に、デジタルを利用すれば、ネット上で人との繋がりもできるなどメリットも期待できます。今後、ネット、メール、遠隔操作、電子マネー等々あらゆるシーンでスマホを使う場面が増えていくと思います。“食わず嫌い”を払拭し“慣れれば便利なデジタル！”を身近なものとして付き合っていたら嬉しいです。」と、部会長の北出聡美さん。



市民活動応援講座のひとつコマ

今月号の主な内容

- 1 面 ・特集：まちづくり協議会 情報支援部会
- 2 面～3 面 ・特集：まちづくり協議会へのアクセス（ホームページ/フェイスブック/Instagram/YouTube チャンネル）、年代別アプリ利用率・今年度の市民活動応援講座開催予告
- 4 面 ・特集：情報支援部会メンバーの声

次号予告

次号（11月号）は、まちづくり協議会 welcome 部会を特集します。

自らも地域で市民活動をしています。活動の中で一番困ったのが広報でした。巷は情報に溢れていますが、必要な情報をキャッチすることも、伝えたい相手に適切な情報を届けることも容易ではないと痛感。

そんな中、他の市民活動をしている方から情報支援部会へお誘いを受けました。中途半端なデジタル経験者の私でも、できることがあるのかな？と迷いましたが、「活動団体と市民の架け橋となるお手伝いができたらいいな」と思い、参加するようになりました。結果、色々知識をつけさせてもらえてラッキー！有難い場です。（K.O.さん）



退職後自由な時間が増え、ふと振り返ると宮前での居住期間が最も長くなり親しみも感じていることから、私でも何かお手伝いできることがあればと思ったところでした。SNS（主に Twitter, Instagram と若干のブログ）をやっています。また勤務時代に簡単な資料作りなどでパソコンにも接したこと、ごく短期間ですが情報提供の部署にも籍を置いたことがあるという単純な理由から、軽い気持ちで情報支援部会に参加しました。入ってみて色々な意味で深い部会だと気づき、今頃になって日々焦っています…。（O.W.さん）



体調がいまいちでリアルに部会の会議に参加できませんが、部会をやめてしまうと孤立して寂しくなります。そんな心の空洞を埋めてくれるのがネット、ZOOM 会議などに参加すれば、体が不調でも皆と繋がれます。リアルではないですが、ある程度の繋がり感があり孤立が避けられています。（M.A.さん）



情報支援部会は普段から SNS で発信している人の集まりではありません。得意な人や地域振興課のスタッフがなるべくシンプルな方法を考えて、情報発信を分担しています。原稿は作ったけれど Facebook への投稿は他のメンバーにお願いする、ということも慣れない頃がありました。写真を撮り共有の場所に保存、写真を選んで動画に仕上げる、これも数人による作業です。無理するのではなく少し頑張っただけでクリアしていく感じです。「こういうのを投稿してもいいの？」の問いに、ポジティブに「いいね！」と励まされたことも度々ありました。できない、わからない、知りたい、も言いやすい風通しのいい部会です。（T.K.さん）



まちづくり広場へのご意見・ご感想はこちらまで

(事務局)宮前区役所地域振興課 電話 856-3125 FAX 856-3280
E-MAIL 69tisin@city.kawasaki.jp HP アドレス <https://www.miyamae-machikyo.com>

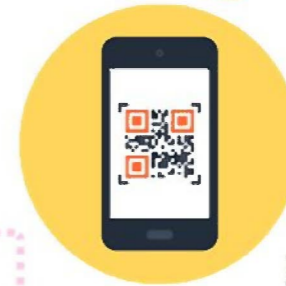
【編集後記】 2 回目の川崎市じもと応援券が始まった。近くの店でスマホを出して支払おうとしたら店員に「よくできましたね」と言われた。そうなのです、後期高齢者にとってスマホにお金が入るまでがまず大変。いろいろな情報を入力しなくてはならないし、やり方も良くわからない。多くの知人が面倒なのでやめたという。支払いもお店の QR コードを読み込んでから、支払う金額を自分で入力、お店は入力された金額が正しいかチェックする、と不便。デジタル通貨になじんでもらおうとの意向かもしれないが、高齢者にとってはハードルが高すぎる(涙)。(K.S.)

まちづくり協議会へのアクセスいろいろ

あなたは、どこからQR検索？

アクセスするとドキドキ♡
情報が見つかります♪

最近、いろいろな所でQRコードが登場します
まだ、スマホで「読んだことがない！」
「した事がない！」という方は、
是非このまちづくり広場で練習してみてください～



宮前区で行われている様々な情報をご覧いただけます

YouTubeチャンネル

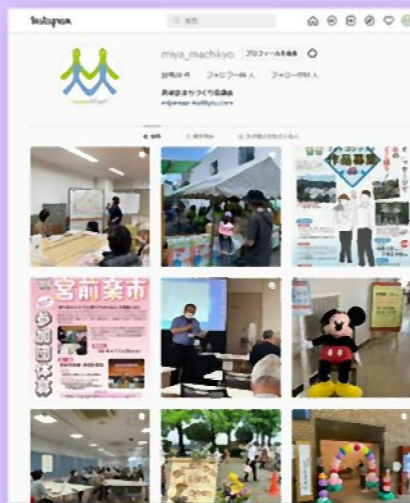


イベントの動画などをご覧いただけます
https://www.youtube.com/channel/UCUUhmgOP50uLKH4TK_b2okA

今年度より新しく変わりました！



まちづくり協議会のお知らせや
各種申込用紙などがあります
<https://www.miyamae-machikyo.com/>



写真中心でいいところ撮りです
https://www.instagram.com/miya_machikyo/?hl=ja



今年度の市民活動応援講座です

10月31日(月曜日)13時～16時

宮前市民館4階 会議室

元NHK映像ディレクター中山 望 講師による

『スマホを使った動画づくりの基本』

お申し込みは、別途お知らせいたします

年代別アプリの利用率です
どの年代もLINE・YouTube多いですね

全年代数は13歳から69歳までの男女1,500人を対象に調査・70代は70歳から79歳までの282人を対象に調査しています

	全年代(N=1,500)	10代(N=142)	20代(N=213)	30代(N=250)	40代(N=326)	50代(N=287)	60代(N=282)	70代(N=282)
LINE	90.3%	93.7%	97.7%	95.6%	96.6%	85.4%	76.2%	49.3%
Twitter	42.3%	67.6%	79.8%	48.4%	38.0%	29.6%	13.5%	4.3%
Facebook	31.9%	19.0%	33.8%	48.0%	39.0%	26.8%	19.9%	7.1%
Instagram	42.3%	69.0%	68.1%	55.6%	38.7%	30.3%	13.8%	3.2%
TikTok	17.3%	57.7%	28.6%	16.0%	11.7%	7.7%	6.0%	2.1%
YouTube	85.2%	96.5%	97.2%	94.0%	92.0%	81.2%	58.9%	33.3%

【令和2年度】総務省 「主なソーシャルメディア系サービスアプリ等の利用率」を元に情報支援部会で作成